



いのちと平和を
守ります

ふくおか市民政治ネットワーク・福津

女性がつくる新しい政治！

代表/倉田 玲子 代理人/豆田 ゆう子 (福津市議会議員)
〒811-3217 福津市中央 2-2-1 TEL・FAX 0940-42-2973
E-mail fukutsu@fnet.gr.jp HP : <http://www.fnet.gr.jp>



やっぱり、
生活って
政治

2018

政治を変えるのは市民！

ふくおか市民政治ネットワークは、「住んでいるまちを住みたいまちに」するために、市民自治の実現をめざし、お任せにしない市民の政治を広げています。



今年もよろしくお願いします。

昨年の衆議院選挙では、選挙区を同じとする近隣ネット(宗像市・古賀市)と「衆院選挙に対する共同声明」を出しました。しかし、自民党圧勝となり、平和憲法を守ることや、安全保障関連法の廃案等が益々遠のき、私たちの活動の中心である「いのちと平和を守る」ことが、難しくなると感じています。

私たちは、2018年もあきらめることなく、忘れることなく「いのちと平和を守る」活動を続けます。

朝倉市視察報告

全国初、「災害時母子支援センターきずな」

平成 29 年 7 月の九州北部豪雨で、甚大な被害を受けた朝倉市にある「災害母子支援センターきずな」を中心にまだ被害が残る地区の視察に行ってきました。(10月18日)

センターの事務局である朝倉市市議の大庭きみ子さんに話を聞きました。

「非常時に乳幼児や子どもを連れての避難は、かなり困難なものです。特に乳幼児はストレスがあれば、泣くことでしか訴えが出来ません。しかし、泣き声は大勢の避難者の中では迷惑になります。そして母親は、子どもの声をととても気にします。」

ストレスを抱えた母子の支援の必要性を痛感した大庭さんが、同じ思いを持つ女性たちと産院産婦人科を借りて「母子支援センター」を立ち上げました。乳児と母親の避難、中学生以下までの男児を含む母子・女性の一時休息の場、女性ボランティアの宿として使われました。

遊びながら心のケア

子ども達は、遊びを通じて心を癒していきます。地震が起これば地震ごっこを、水害後では水遊びをしながら、怖かった経験を少しずつ整理していくそうです。今回の災害では、やはり水遊びを喜々として遊んでいました。そんな、子どもの心のケアもするセンターです。

今後は、子ども達の遊びの支援(プレーパークの共催)や、センターを「子どもの広場」として開放する等の活動拠点にもなります。

「報道で知っているつもりだったが、実際に見て災害のすさまじさに呆然とした」これは、まだ泥と瓦礫に埋まる集落を見学した1人の感想です。

「災害母子支援センターきずな」の運営はすべて寄付とボランティアで運営されています。

皆様のご支援をお願いします。

ゆうちょ銀行

17420-83109481

アサクラサイガイボシエンセンター



仮設住宅の集会所を見学



小学校の校庭に建設された仮設住宅(ブランコは取り外されています)



議会報告会(まちづくりトーク)

日時: 1月20日(土) 10:30~12:00

場所: ネット・福津事務所

生活って政治です!

政治につながる生活の事話しましょう。

ニュース配布ボランティア

ニュースを配っていただける方を探しています。

☆散歩の時に☆ご近所だけ☆10枚でも・

電話: 42-2973 までご連絡下さい。

☆2018年度ネット会員募集中☆

年会費 1500円

会員には議会や学習会の案内を差し上げます。会費・カンパ・議員報酬からの寄付で活動しています。

このニュースはボランティアの協力を得て、福津市内に配布しています。